

で議案を審査

3つの常任委員会



総務文教 常任委員会

5項目を審査



燕市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会において、どのような議論が行われたのか。

答 厳しい財政状況から、据え置きが妥当であるという意見があった一方、報酬額が一つ上位の三条市との差が大きいこと、また今年の市議会議員選挙において、若い人から立候補していただくためにも引き上げるべきとの意見もあり、引き上げの答申となった。

反対討論 労働環境が変化している状況の中、市民感情として議員に対する厳しい見方もあり、会派としても賛成することができない。

賛成討論 審議会の答申は、市議会に対する今後の活性化や市政発展への期待でもある。これを真摯に受け止め、議員としてさらに働かせていただきたい。

市民厚生 常任委員会

11項目を審査



燕市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定

居宅介護支援事業所の状況と権限移譲について伺う。

答 事業所の件数等は、燕地区が11事業所、吉田地区が6事業所、分水地区が4事業所で、計21事業所です。権限移譲は、今まで新潟県が行っていた基準をそのまま市町村が受け継ぐことになる。

燕市介護保険条例の一部改正

改正前と改正後の対象者数の増減について。

答 第7段階は2146人から2315人へ169人の増、第8段階は1176人から1073人へ103人の減、第9段階は1394人から1328人へ66人の減となる。

燕市指定介護予防支援等事業に関する基準等を定める条例の一部改正

障がい福祉制度の相談支援専門員の人数等は、6施設13人である。

燕市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

審議会での議論について伺いたい。

答 据え置きという意見があった一方、社会全体での賃上げが必要であり、議員や特別職の報酬を上げることがその引き金になってほしいという意見があったため、多数決によって引き上げの答申となった。



燕市議会議員の報酬		
	改正前	改正後
議長	411,600円	423,900円
副議長	341,400円	351,600円
議員	324,700円	334,400円
特別職の職員の給与		
	改正前	改正後
市長	877,700円	886,400円
副市長	666,700円	673,300円
教育長	604,800円	610,800円

燕市国民健康保険税条例の一部改正

税率の引き下げと今度の見直しについて。

答 税率については、今後上げ下げするにしても、あまり極端な税率改正にならないよう、また、あまり激変が生じないようにさせていただきます。

問 がんに対する新薬が出回り、高額だった新薬も安くなったため使用量が増え、負担が増えているのではないかと。

答 新薬について、国のほうでも高額薬剤の取り扱い、使い方も含めて価格の適正な設定について改正されているため前よりは影響は少ない。

平成29年度一般会計補正予算

屋内ゲートボール場改修事業費補助金の減額理由は何か。

答 社会福祉協議会で運営している「すばーく燕屋内ゲートボール場」の大規模改修に対する補助金であり、日本財団の助成を利用して改修工事計画をしていたが、今回復興支援にその財源が回ったことで内示から漏れ、やむなく1000万円を補正減させてもらった。社会福祉協議会が新年度に再度の補助申請を予定しているが、内示が得られた段階で新年度補正予算をお願いをする。

後期高齢者保健事業受託収入の減額理由について。

答 実績が見込みを下回ったためである。

生活困窮者自立支援事業国庫負担金返還金の減額理由は何か。

答 平成28年度事業の実績の中で一部対象外の経費が含まれていたための返還金である。

平成29年度一般会計補正予算

繰越明許費の社会保障税番号制度導入事業について伺う。

答 社会保障番号制度の導入では、国からの予算措置が十分ではなかったことによる。

問 県央大橋西詰周辺地域整備事業の繰り越し理由について。

答 事業内容に変更はないが、堤防整備の優先など情勢が変わったことで国交付金の活用に関する県との協議に時間を要した。このため、翌年度に事業を繰り越すことになった。

反対討論 社会的にも問題点が指摘されている「社会保障番号制度の導入」と「県央大橋の西詰周辺整備事業」の両事業は、会派として反対してきた。これらが繰越明許になることについては賛成できない。

問 地方債補正「道路整備事業」に係る減額理由は何か。

答 国からの社会資本整備総合交付金が十分に交付されないことも要因であるため、市長会などを通じ、国への財源確保を要望している。

その他

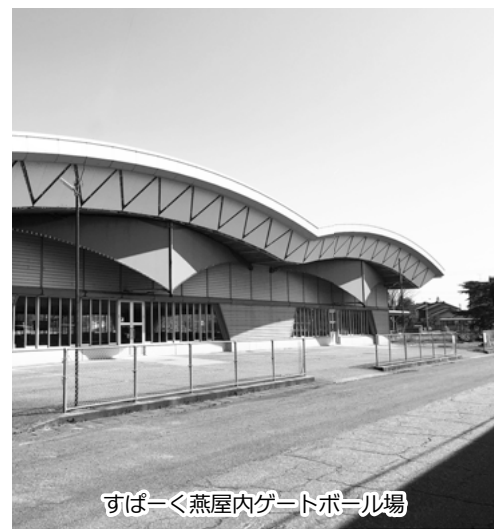
- ・燕市学校給食センター条例の一部改正
- ・平成29年度土地取得特別会計補正予算

問 障がい児通所支援費支給事業の増額理由について。

答 医師の意見書等で判断される場合もあるため、事前人数の把握が困難であり、当初の予想より増加したためである。

その他

- ・燕市国民健康保険条例の一部改正
- ・燕市国民健康保険給付準備基金条例の一部改正
- ・燕市後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- ・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・平成29年度介護保険事業特別会計補正予算



すばーく燕屋内ゲートボール場



このような審査を経て、本会議で採決しました

産業建設 常委員 任

9項目を
審査



燕市中小企業振興条例の一部改正

問 改正の趣旨や内容について何う。

答 早くから条例を制定し、小規模事業者、中小企業者の振興に取り組んできた。今後さらにも市を挙げて取り組むことをうたったものである。

問 中小企業者・小規模企業者の振興を図る推進体制の詳細について何う。

答 来年度から産業振興のプラットフォームを設置したい。中小企業が抱える課題に対して、さまざまな意見を伺い、産業施策として推進するため、燕市産業振興協議会を設置し、次年度以降の事業化を見据えた検討を行っていききたい。

燕市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定

問 要件や利用見込みについて何う。

答 条例の制定は、法律に規定する承認地域経済牽引事業者に対して、固定資産税を課税免除することに必要な事項を定めるためのものである。事業の計画承認については、地域未来投資促進法に

則ったものであり、5年間で10件を目標としている。

燕市営住宅条例の一部改正

問 対象者の数や改正内容等について何う。

答 高齢者世帯は120世帯ある。医師の診断書がない場合は、医療や介護に従事する職員からの意見聴取等によって判断を行う。今後も高齢者が増えることから、福祉関係及び医療関係者と情報交換をしながら、対象者になるかどうかも含めて行っていきたい。

平成29年度一般会計補正予算

問 中小企業融資資金貸付金に関して、預託金制度に対する認識について。

答 来年度から金利を1.5%にする。預託金については、財政の硬直化、流動性を失う部分があるが、新たな取り組みとも合わせつつ、小規模事業者に対する配慮として引き続き実施する。金融懇談会や産業振興協議会でも意見を聞きたい。

問 交通公園整備事業の成果や土木費の社会資本整備総合交付金について何う。

答 交通公園の幼児用自転車は、職員に照会し1台を配置。指定管理者の方にもお願いし、増やしたいと思っている。安全管理も考慮しつつ台数を決めたい。社会資本整備総合交付金は、さまざまな機会を通じて、県を通じて国へ要望していきたい。今後、自治会協議会の総会の場などで、要望箇所数の集約をお願いしたいと考えている。

問 建築総務費の補助金減額に関連して、耐震化が進まないことに対してどう考えるか。

答 耐震診断が耐震化に結びついていない現状があったので、これからは啓発を進めながら行っていきたい。

問 多面的機能支払交付金事業で、事業を見送った要因について。

答 農振農用地の面積が少ないために交付金額が低いことや事務処理の負担があること、その地域に取りまとめとなる方がいない等が要因である。見送った集落については、粘り強く説明会等を進めていきたい。

平成29年度 公共下水道事業特別会計補正予算

問 工事費が大幅減額になっていることに関して、予算の使いみちなどについて。

答 国からの交付金の減額によるものである。現在、合併浄化槽と下水道の区域の色分けをする汚水処理施設整備構想の策定を行っており、下水道の区域については平成40年度のおおむね完成を目指して取り組んでいく。広報等により色分けした図面等を平成31年度に配布することを考えている。

その他

- ・燕市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正
- ・燕市道路占用料徴収条例の一部改正
- ・燕市都市公園条例の一部改正
- ・市道路線の認定

